

## 特別声明

### 北延伸阻止——「東峰の森」を守り新誘導路建設を阻止しよう

一、

成田空港株式会社（旧空港公団）は、三日、暫定滑走路北延伸の施設計画案を公表した。これによると、北側に三二〇メートル延伸する一方、東峰地区東側に空港敷地をはみ出して新誘導路を建設するとしている。そのルートは「東峰の森」にかかることから、森の破壊が避けられない。

反対同盟は、敷地内東峰・天神峰区の営農と生活環境を破壊してやまぬこうした暴挙を徹底弾劾し、「東峰の森」を守り新誘導路建設を阻止する決意を表明する。

二、

そもそも「東峰の森」は戦後、部落創建のころから山菜やキノコ採り、粗朶（そだ）集め、落ち葉かき、床土取りなどのために入会地的に使われてきた旧県有林をひきつぐものである。防風林、防砂林として地区の農業と住環境を守り、空港ができてからは防音林としての役割も果たしてきた。また、森の保水力が周辺の畑を潤してきたのである。

かつて空港公団は「成田空港周辺緑化基本計画」（九五年）で、この森を樹林地として整備することを東峰区に提示し、「東峰区樹林の段階的整備」（九七年）にまとめている。〇三年に貨物基地構想が浮上した時には、区の了解なくして樹木の伐採はできない旨、確約した。この森の樹木は、東峰区の承諾なくして切り倒してはならず、誘導路は建設できない。

三、

空港会社は最大一〇デシベルを超える大騒音で東峰地区の生活を侵害し、いままた延伸でジャンボを飛ばすと脅迫して移転を強要している。成田市久住地区や下総町にはこれまでをはるかに超える騒音が襲いかかる。滑走路南の菱田廃村化を含め、空港による地域破壊に対して反対同盟は断固闘う。場当たり的で欠陥だらけの北延伸は必ず阻止できる。その最大のネックは誘導路である。「東峰の森」を守り新誘導路計画を阻止しよう。

右、弾劾し声明する。

二〇〇五年十月九日

三里塚芝山連合空港反対同盟